

マイナビ、「2023年卒 大学生 Uターン・地元就職に関する調査」を発表 地元(Uターン含む)就職を希望する学生は62.6%で2年連続増加

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：土屋芳明）は、2023年3月卒業予定の全国の大学生、大学院生（5,420名）を対象に、「2023年卒 大学生 Uターン・地元就職に関する調査」の結果を発表しました。

【TOPICS】

- ◆ 地元（Uターン含む）就職を希望する学生は前年比4.8pt増の62.6%で2年連続増加【図1】
- ◆ 地元就職への意欲を高めるために必要なことは「働きたい企業が多くできること」「給料がよい就職先が多くできること」などの実現【図2、3】
- ◆ 働く場所が自由になった場合、「地方企業に勤め、地方に住みたい」学生は29.2%。一方、東京の企業に勤めたい学生は前年度11.8pt増の31.5%に【図4、5、6】

【調査概要】

2023年3月卒業予定の全国の大学生、大学院生が地元（Uターン含む）就職を希望する割合は62.6%（前年比4.8pt増）で2年連続の増加となった。有効求人倍率の推移と比較すると、コロナ禍前は求人倍率の高まりにあわせて地元就職希望が減少し、都市圏の大手企業などの就職意向が高まっていた。一方で、コロナ禍以降は求人倍率がやや低下し、経済状況が不透明であることなどから地元就職意向が高まったと推察される。また、大学（大学院）に進学した際と現在の地元就職希望割合の差が8.3ptと前年以上であることから、コロナ禍によりオンラインインターンシップや就職活動が普及し、地元に離れていても情報収集をしたり選考が受けられたりする点も、地元就職意向を後押ししている要因ではないかと考えられる。【図1】

地元就職を希望しない学生に、どのようなことが実現すれば地元就職する可能性があるか聞くと、「働きたいと思うような企業が多くできる」「給料がよい就職先が多くできる」がともに4割を超えた。また、地元就職を希望する人を増やすためのアイデアとしては、「給与を増やしたり生活に関する手当を充実させる」「子育て支援に力を入れる」などの、企業の制度や待遇に関するコメントが見られた。住宅手当や奨学金返済制度、子育て支援など、将来安心して生活できる制度を取り入れる企業があれば、地元就職を希望する学生が増えると考えているようだ。【図2、3】

働く場所が自由になった場合の勤務先と居住地の理想を聞いたところ、最も多く選ばれたのは「地方企業に勤め、地方に住みたい」が29.2%で、前年に比べると7.2pt減少した。一方で「東京の企業に勤めたい」という学生は22年卒に比べて11.8pt増加し31.5%[※]だった。東京出身者以外に限定して地元就職の希望別に見ると、地元就職を希望している学生のうち18.4%の学生が、働く場所が自由になれば「東京の企業に勤めたい」と回答した。地元就職を希望していても、理想については「東京の企業に勤めたい」と回答している学生が一定数存在することが分かる。学生の自由コメントでは、「東京の企業の方が給料が高い」「オフィス街の方がモチベーションがあがる」「趣味の活動が行える環境に住みたい」などの意見が見られた。テレワークによって働く場所が自由になった場合、地方に住みたいと考える学生がいる一方で、「自由に勤務地や居住地の理想をあげるのであれば東京の企業に勤めたい」と考える学生もいるようだ。【図4、5、6】

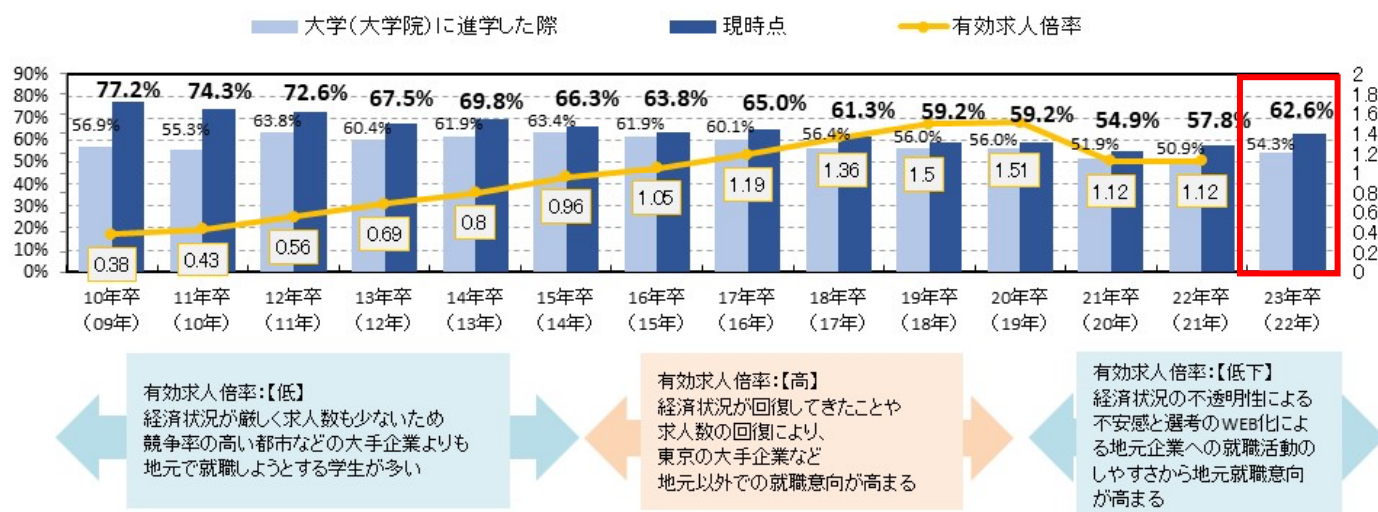
※ 「東京の企業に勤め、地方に住みたい」＋「東京の企業に勤め、都市（東京以外）に住みたい」＋「東京の企業に勤め、東京に住みたい」の合計

【調査担当者コメント】

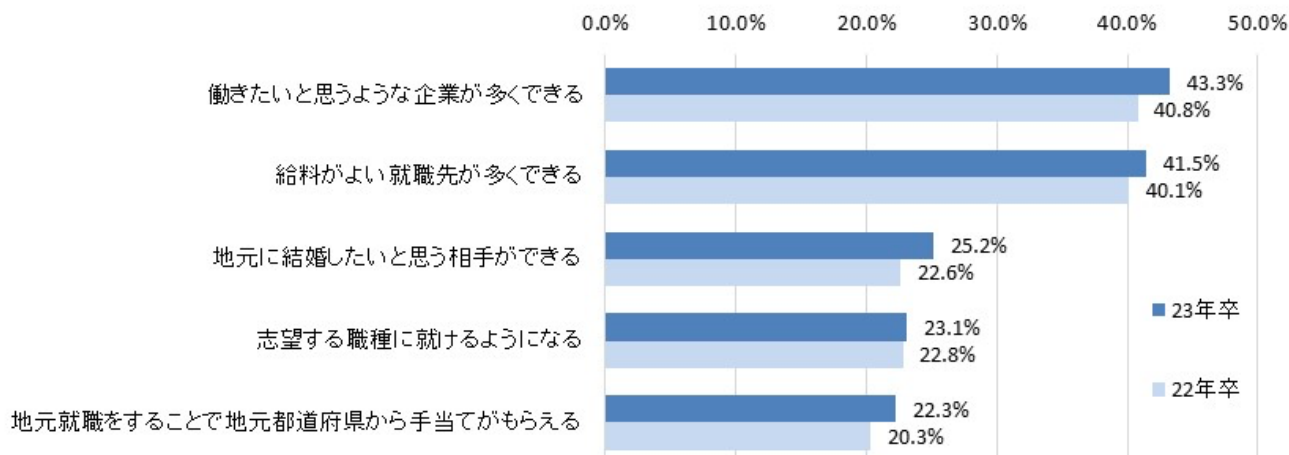
働く場所と住む地域に関する調査結果から、実家に暮らして出費を抑えることで貯蓄したり、将来子育てする上で実家の手助けを得たりすることを希望して地方での生活を望む学生や、高水準の収入を得て安定した生活を送ること、交通や商業施設などの利便性の高い地域で暮らすことを希望して東京での生活を望む学生など、就職先や暮らし方にさまざまな考えを持つ学生がいることがわかりました。一方で、それぞれの考え方の多くは、根底に「安定した将来」を望む意識があることも見てとれます。どんな価値観を持つ学生も安心して理想の生き方のために就職先や住む場所を選べるような社会づくりが求められているようです。

マイナビ キャリアリサーチラボ 沖本麻佑

【図1】地元（Uターン含む）就職の希望意向



【図2】＜Uターン就職を希望しない学生限定＞ 実現すれば地元就職するかもしれないと思うもの



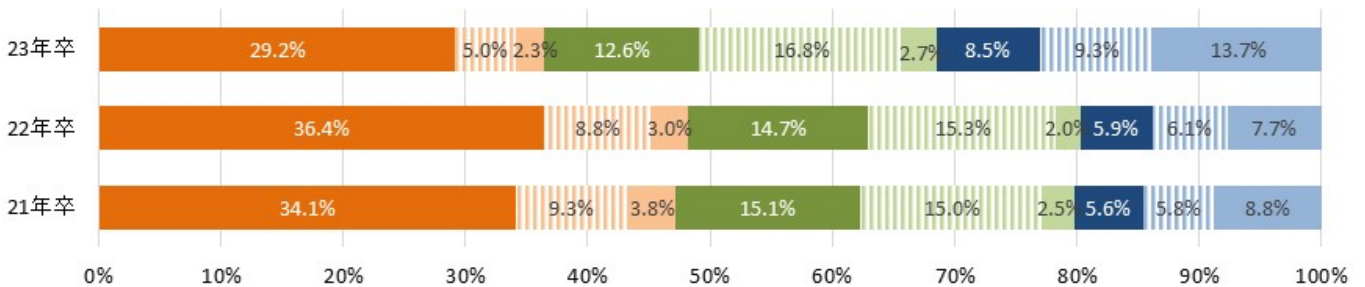
【図3】 あなたの地元で、地元（Uターン含む）就職を希望する人を増やすためのアイデア
（自由回答）

※企業の待遇や制度に関する意見を抜粋

属性	卒業高校の都道府県	現住所の都道府県	地元就職の希望有無	地元(Uターン含む)就職を希望する人を増やすためのアイデア
文系女子	埼玉県	埼玉県	どちらかという と希望する	それぞれの暮らし方(独身、家庭持ち、二世帯)ごとに何か補助があれば良いと思う。 子供がいる家庭の補助はよく聞かすが、それ以外の暮らし方も受け入れられて良いと思うし、それを支える方策があっても良いと思う。
理系男子	山形県	北海道	どちらかという と希望する	地元企業の年収や福利厚生に力を入れるべきだと考えます。自分のやりたいことがあり、年収も高ければ地元ではなく都市部に就職すると考えます。その悪循環により、都市部には多くの友人もいるためさらに都市部に就職する人が増えると思います。そのため、 地元就職を増やすためには年収を増やすことが難しくても福利厚生に力を入れ就活生を呼び込む方法が最適なものだと考えます。
文系男子	青森県	青森県	どちらかという と希望する	子育て支援に力を入れて欲しい。 地元に残る以上、仕事と育児の両立は必須。給料は19万近くが増え、休暇も取れるようなものが理想。
文系女子	岩手県	宮城県	どちらかという と希望しない	のちに結婚、出産を迎えるにあたり、子育て支援の充実が必要になってくる。 地元就職を決め、実際に一定期間働いた者には手当を支給する。また、子育て応援手当や結婚手当の充実も有効的である と考える。
理系男子	山口県	宮城県	全く希望しない	地元にはとにかく有力企業が少ない。優秀な人材は集まりにくいと思う。人材を集めるためには、生活に関する手当を充実させるのが良いと思われる。 家賃や光熱費、教育費などの支出を抑えることができる制度があれば多少は地元が魅力的になると考える。交通手段に自家用車がないと生活が難しいのも、若い世代にとってはかなりの負担である。
理系女子	岩手県	岩手県	全く希望しない	地元で就職することで奨学金の返済を援助してもらえたり、地方で必要な自動車に関する出費を援助してもらえらう等の金銭面の支援 があると就職を希望する人が増えるのではないかとと思う。

【図4】 働く場所が自由になった際に、勤務先・居住地の理想として当てはまるもの

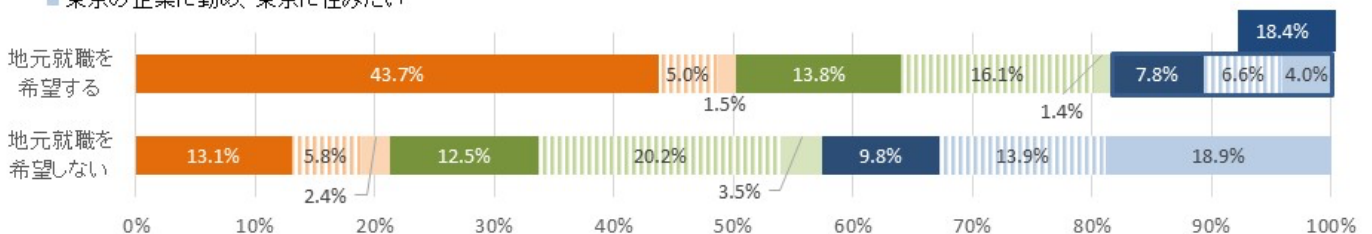
- 地方の企業に勤め、地方に住みたい
- 地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい
- 地方の企業に勤め、東京に住みたい
- 都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい
- 都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい
- 都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい
- 東京の企業に勤め、地方に住みたい
- 東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい
- 東京の企業に勤め、東京に住みたい



【図5】 <東京出身者（卒業高校の所在地が東京の学生）は除く>

地元就職の希望有無×働く場所が自由になった際に、勤務先・居住地の理想として当てはまるもの

- 地方の企業に勤め、地方に住みたい
- 地方の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい
- 地方の企業に勤め、東京に住みたい
- 都市(東京以外)の企業に勤め、地方に住みたい
- 都市(東京以外)の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい
- 都市(東京以外)の企業に勤め、東京に住みたい
- 東京の企業に勤め、地方に住みたい
- 東京の企業に勤め、都市(東京以外)に住みたい



【図 6】 <「地方の企業に勤めたい」を選択した学生限定>
働く場所が自由になった場合の、働き方や住む場所の理想（自由回答）

属性	卒業高校の都道府県	現住所の都道府県	現在希望する勤務地	働く場所が自由になった場合の、勤務先や居住地域の理想
文系女子	岩手県	岩手県	岩手県	ずっと住んできた岩手県に住み続けて働きたいと思っています。それは、岩手県の居心地の良さと家族がそばにいる安心感があるからです。住む家としては、一人暮らしをしたいと思っていたため実家から離れたところで働く選択肢も考えていましたが、家族という有り難さや楽しさを、就活を通してより強く感じました。そのため現段階では 実家暮らしを継続し、家族とより関わりながら仕事に務めたい と思っています。そして、 仕事に慣れ、仕事と暮らしのバランスが取れると見込み、加えて両親へ少しでも恩を返せたと感じた頃合いを見て一人暮らしに移ろうかと考えています。
理系女子	岐阜県	岐阜県	岐阜県	実家から徒歩で行き来できるくらいの距離の家に住み、頻繁に会えるような過ごし方をしたい。 特に子育てをすとなったら、家族の助けが必要不可欠となると考えている。
文系女子	福岡県	山口県	福岡県	地元で就職したい理由は、奨学金の返済やひとり暮らしの費用を考えると、 就職後数年間だけでも実家から通勤し、貯金をしたり返済に回したい と考えているからです。なので、地元就職の中でも、実家から通える範囲内が希望です。また、進学した際に他県に移動したので、就職後は少しでも家族と過ごす時間を作りたいと言う気持ちもあります。
文系男子	埼玉県	埼玉県	埼玉県	実家でお金を貯めながら、プライベートや家族との関係を重視し、仕事と両立させながら働く。

マイナビ「2023年卒 大学生 U ターン・地元就職に関する調査」

- 調査期間：2022年3月18日（金）～4月6日（水）
- 調査方法：3月18日時点のマイナビ2023会員にWEBDMで配信。
- 調査対象：2023年3月卒業見込みの全国の大学生、大学院生 ※調査時点
- 有効回答数：5,420名（文系男子：969名、理系男子：954名、文系女子：2,457名、理系女子：1,040名）

※調査結果の詳細は会社HPのニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます。

【本件に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 キャリアリサーチラボ 沖本
Email : myrm@mynavi.jp

【当社に関するお問い合わせ先】
株式会社マイナビ
社長室 広報部 石井
Email : koho@mynavi.jp